全体を通してのコメント

第一章

演習問題1、2について

ほぼ、理解されているようですので、特に問題はありません。

ポテンシャルは、力が「保存力」であるときだけ「位置のみの関数として与えられる状態量」となること に注意してください。

第二章

演習問題1、2について

ほぼ、理解されているようですので、特に問題はありません。

演習問題3について

藤森工業株式会社 冨塚様

第一章

演習問題1、2について

ほぼ、理解されているようですので、特に問題はありません。

他の定義を用いることも出来ますが、この講義においては、「緩和時間」を初期の 1/e になる時間と定義しています。

また、ポテンシャルは、力が「保存力」であるときだけ「位置のみの関数として与えられる状態量」となることに注意してください。

第二章

演習問題1、2について

理解されているようですので、特に問題はありません。

演習問題3について

藤森工業株式会社 横橋様

第一章

演習問題1、2について

ほぼ理解されているようですので、特に問題はありません。

ポテンシャルは、力が「保存力」であるときだけ「位置のみの関数として与えられる状態量」となること に注意してください。

第二章

演習問題1、2について

理解されているようですので、特に問題はありません。

演習問題3について

大枠のイメージは理解されているようです。

マクロな変形とミクロに生じていることとをもう少し分けてイメージしたほうがいいかもしれません。

藤森工業株式会社 池田様

第一章

演習問題1、2について

ほぼ、理解されているようですので、特に問題はありません。

第二章

演習問題1、2について

ほぼ、理解されているようですので、特に問題はありません。

液体が流れるときには、「内部の粒子が瞬間ごとの居心地のいい状態に移動している」ことに注意してください。

演習問題3について

テルモ株式会社 杉浦様

第一章

演習問題1、2について

ほぼ理解されているようですので、特に問題はありません。

ポテンシャルは、力が「保存力」であるときだけ「位置のみの関数として与えられる状態量」となること に注意してください。

第二章

演習問題1、2について

理解されているようですので、問題はありません。

演習問題3について

ご自身の中で、きちんとイメージを持たれているようです。全く問題ありません。 自発的な表現と他動的なものを両方イメージすることは大事だと思います。

テルモ株式会社 洞口様

第一章

演習問題1、2について

ほぼ、理解されているようですので、特に問題はありません。

ポテンシャルは、力が「保存力」であるときだけ「位置のみの関数として与えられる状態量」となること に注意してください。

第二章

演習問題1、2について

理解されているようですので、問題はありません。

演習問題3について

テルモ株式会社 茶井様

第一章

演習問題1、2について

理解されているようですので、問題はありません。

第二章

演習問題1、2について

理解されているようですので、問題はありません。

演習問題3について

テルモ株式会社 津田様

第一章

演習問題1、2について

ほぼ、理解されているようですので、特に問題はありません。

ポテンシャルは、力が「保存力」であるときだけ「位置のみの関数として与えられる状態量」となること に注意してください。

第二章

演習問題1、2について

ほぼ、理解されているようですので、特に問題はありません。

固体と比較して、「熱の影響が相対的に大きくてそれぞれの粒子が一箇所に留まらない状態が液体である」 ことに注意してください。

演習問題3について

- 一行目の表記は、若干適切ではないかもしれません。液体において、個々の粒子は常に居心地の良い場所 を求めて移動していますが、これは、「流れていなくても生じている」ことです。
 - 二行目のイメージは、素晴らしい。このように活性化されるということを意識してください。

で、流れるということに着目したときには、上記の移動が等方的(どの方向も平等)ではなく、異方的 (特定の方向にエコヒイキ)になるということと捉えればいいと思います。その原因として、巨視的な変形 に伴って居心地の良い方向が出来ているということと考えてください。